

平成30年度
シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程)

教科	音楽	学年	1	年	時間数	45	時間
----	----	----	---	---	-----	----	----

教科書名	中学音楽1 音楽のおくりもの	出版社名	教育出版
------	----------------	------	------

学期	月	指導計画		評価の観点				授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	関	創	技	鑑	
一 学 期	4	オリエンテーション	○中学校の音楽活動の概要について ○「校歌」(斉唱・三部合唱)	◎	○	◎		<p>授 業 の 概 要</p> <p>歌唱活動を中心とし、学期に一度の鑑賞活動、年間を通してアルトリコーダーを演奏します。歌唱では、混声三部合唱に取り組み、合唱する楽しさ、素晴らしさを味わいます。また、歌唱や鑑賞で日本音楽を積極的に取り入れ、我が国の音楽について理解を深めます。</p> <p>学 習 の 到 達 目 標</p> <p>・ 発声や発音、ハーモニーを意識し、諸記号を生かして合唱することができる。 ・ アルトリコーダーの基本的な奏法を身に付け、楽曲に応じた表現をすることができる。 ・ イメージを持ちながらリズムや音を音楽へと創作することができる。 ・ 情景や心情を感じ取り、表現要素(速度、強弱など)や構成要素(音域、楽器の音色、リズムなど)を聴き取り、自分の言葉で表現することができる。</p>
		歌唱: 歌詞の内容を生かして	○「青空へのぼろう」・「夢の翼」 ・ 基礎的な歌唱の技能、用語、記号の確認	○	◎	◎		
	5	器楽: アルトリコーダー(通年)	○ アルトリコーダーの奏法、アンサンブル ・ アルトリコーダーの基礎的な奏法の習得	○	◎	◎		
		中間考査(5/15~5/16)						
	6	鑑賞: 物語と曲想との関わり	○ 鑑賞曲「魔王」 ・ 登場人物ごとの表現、伴奏の効果の聴取 ・ 物語の進行と曲想の変化	◎			◎	
		期末考査3年(6/27~7/3) 期末考査1・2年(6/28~7/3)			○	◎	◎	
	7	歌唱: 日本語の抑揚を大切にされた歌	○「夏の思い出」 ・ 言葉の抑揚やリズムと旋律との関わり	○	◎	◎		
夏季	8	夏季休業日(7/21~8/26)						
二 学 期	9	歌唱: 全体の響きを生かして	○「希望という名の花を」 ・ 声部の役割の確認 ・ 歌詞の内容を感じ取り、表現を工夫する	○	◎	◎		
		創作: 楽しいリズム曲をつくろう	○ 身近な言葉に音符でリズムをつけよう ・ 「くいしんぼうのラップ」を歌って、リズムと言葉の関わりを知る ・ リズムのつなげ方を工夫して、4小節の曲をつくる	○	○	◎	○	
	10	鑑賞曲: 情景と曲想の変化との関わり	○ 鑑賞曲「連作交響詩「我が祖国」から「ブルタバ」 ・ 主題の聴取 ・ 情景とオーケストラの表現の聴取	◎			◎	
	11	歌唱: 日本語の抑揚を大切にされた歌	○「赤とんぼ」 ・ 旋律と形式の確認と独唱による表現の工夫	○	◎	◎		
		期末考査3年(11/28~12/4) 期末考査1・2年(11/29~12/4)			○	◎	◎	
	12	歌唱: 混声合唱の楽しみ	○ 混声三部合唱「翼をください」 ・ いろいろな用語や記号の理解、全体の響きを感じ取り、表現を工夫する	○	◎	◎		
冬季	1	冬季休業日(12/21~1/6)						
三 学 期	1	鑑賞: 和楽器の魅力や味わい	○ 鑑賞曲「六段の調」 ・ 箏の調弦の確認、奏法と音色の聴取と左手の奏法や楽曲全体の速度の確認	◎			◎	
		歌唱: 表現を求めている	○「COSMOS」 ・ パート別練習、諸記号の理解とまとめの合唱	○	◎	◎		
	2	学年末考査3年(2/22~2/28) 学年末考査1・2年(2/25~2/28)			○	◎	◎	
		○ 考査前より引き続き「COSMOS」	○	◎	◎			
3								

シ ラ バ ス
平成30年度

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程)

教科	音楽	学年	2	年	時間数	35	時間
----	----	----	---	---	-----	----	----

教科書名	中学音楽2 音楽のおくりもの	出版社名	教育出版
------	----------------	------	------

学期	月	指導計画		評価の観点				授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等	
		単元	内容	関	創	技	鑑		
一 学 期	4	器楽：アルトリコーダー(通年)	・アルトリコーダーの基本的奏法、アンサンブル	○	◎	◎		<p style="text-align: center;">授 業 の 概 要</p> 音楽1で学んだ基礎的な技能を踏まえ、歌唱、鑑賞活動を行います。また、年間を通してアルトリコーダーを演奏します。歌唱では、混声三部合唱に取り組み、各声部の役割の大切さに気付きながら、表現することの素晴らしさを味わいます。	
		歌唱：歌詞の内容を味わって	○「生命が羽ばたくとき」・「語りあおう」 ・歌詞の理解と主旋律の歌唱 ・基礎的な歌唱技能の確認 ・諸記号と声部の役割の確認		○	◎	◎		
	5	中間考査(5/15～5/16)							
	6	鑑賞：絵画と音楽とのかかわり	○鑑賞曲 組曲「展覧会の絵」 ・絵画のイメージと音楽の聴取 ・プロムナードの役割の理解		◎		◎		
		歌唱：曲想を味わって	○「You Can Fly!」 ・歌詞の内容や曲想を味わい、ふさわしい表現を工夫する		○	◎	◎		
	7	期末考査3年(6/27～7/3) 期末考査1・2年(6/28～7/3)				○	◎		◎
		歌唱：日本の美しい情景を表す歌	○「浜辺の歌」 ・歌詞が表す情景の表現と拍子、速度、形式を生かした歌唱		○	◎	◎		
夏季	8	夏季休業日(7/21～8/26)							
二 学 期	9	創作：動機を生かした旋律をつくらう	○一学期末より引き続き「浜辺の歌」 ・音階に数字を当てはめて、好きな4桁の数字でモチーフをつくる ・モチーフを変化させながら旋律をつくる		○	◎	◎	<p style="text-align: center;">学 習 の 到 達 目 標</p> ・発声や発音、ハーモニーを意識し、楽曲に応じた歌唱表現をすることができる。 ・アルトリコーダーの基本的な奏法を身に付け、アンサンブルを楽しむことができる。 ・言葉や音階などの特徴を生かして、表現を工夫して旋律をつくることができる。 ・楽曲の歴史的背景を理解し、情景、表現要素(速度、強弱など)や構成要素(音域、楽器の音色、リズムなど)を聴き取り、自分の言葉で表現することができる。	
		鑑賞：声部のかかわりを理解して	○鑑賞曲「小フーガ ト短調」 ・各声部のかかわりの聴取 ・パイプオルガンの理解と作曲家や楽曲の背景の理解		◎		◎		
	10	中間考査(10/9～10/10)							
	11	歌唱：曲想の変化や音楽の構成を生かして	○「夢は天空を駆ける」・「大切なもの」 ・曲想の変化を味わい、ふさわしい表現を工夫する ・音楽の構成を理解し、全体の響きを感じ取りながら表現を工夫する ・主旋律の声部を確かめ、強弱の設定を生かして歌う		○	◎	◎		
		12	期末考査3年(11/28～12/4) 期末考査1・2年(11/29～12/4)			○	◎		◎
	12	歌唱：全体の響きを味わって	○「この星のどこかで」 ・声部の役割と全体の響きとのかかわり		○	◎	◎		
冬季		12	冬季休業日(12/21～1/6)						
三 学 期	1	鑑賞：日本の伝統的な声の特徴	○鑑賞曲 長唄「勸進帳」 ・歌舞伎について、「勸進帳」の内容 ・声の音色や拍の表れ方、楽器との合わせ方		◎		◎	<p style="text-align: center;">評 価 の 観 点</p> 音楽への関心・意欲・態度 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽に対する関心を高め、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	
		歌唱：響き合うよこびを味わおう	○混声三部合唱「With You Smile」 ・パート別練習及び全体練習 ・主旋律と声部の役割の理解とまとめの表現		○	◎	◎		
	2	学年末考査3年(2/22～2/28) 学年末考査1・2年(2/25～2/28)				○	◎		◎
		3	○考査前より引き続き「With You Smile」		○	◎	◎		
									<p style="text-align: center;">音 楽 表 現 の 創 意 工 夫</p> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、ふさわしい音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。
							<p style="text-align: center;">音 楽 表 現 の 技 能</p> 創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を伸ばし、歌唱、器楽、創作で表している。		
							<p style="text-align: center;">鑑 賞 の 能 力</p> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり価値を考えたして、多様な音楽に対する理解を深め、味わって聴いている。		
							<p style="text-align: center;">評 価 方 法</p> 学習の状況は、「音楽への関心・意欲・態度」、「音楽表現の創意工夫」、「音楽表現の技能」、「鑑賞の能力」の4つの観点で評価します。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取組方」、「実技テスト(歌唱・器楽)」、「定期考査」、「提出物(創作や鑑賞)」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。		
							<p style="text-align: center;">備 考</p>		

教科	音楽	学年	3	年	時間数	35	時間
----	----	----	---	---	-----	----	----

教科書名	中学音楽3 音楽のおくりもの	出版社名	教育出版
------	----------------	------	------

学期	月	指導計画		評価の観点				授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	関	創	技	鑑	
一 学 期	4	器楽：アルトリコーダー(通年)	・アルトリコーダーの基本的奏法、アンサンブル	○	◎	◎		授 業 の 概 要 一、二年生で学習した内容をもとにさらに学習内容に広がりをもたせます。 歌唱では、イタリア語の歌曲や、合唱曲を歌います。器楽では、アルトリコーダーの練習に加えて、箏の基本的な奏法を学び、鑑賞では、形式や演奏形態を理解しながら楽曲への理解を深めます。
		歌唱：日本の美しい情景を表す歌	○「花」 ・歌詞を味わい、情景を感じ取る ・言葉と旋律のかかわりや伴奏の効果を感じ取り表現を工夫する ・二部合唱をする	○	◎	◎		
	5	中間考査(5/15～5/16)						
	6	鑑賞：音楽の構成を理解して	○鑑賞曲「ボレロ」 ・繰り返しの効果と変化する音色や組み合わせによる響きの聴取	◎			◎	
		歌唱：歌い合わせ、聴き深める喜び	○「時を越えて」 ・主旋律の表れ方を確認し、曲想を味わいながら表現を工夫する	○	◎	◎		
		期末考査3年(6/27～7/3) 期末考査1・2年(6/28～7/3)					○ ◎ ◎	
	7	創作：音楽を自由に構成しよう	○チャイムの音列をモチーフとして、音楽を構成しよう ・短い物語をつくり、さまざまな方法で場面に合った音楽をつくる	○	○	◎	○	
夏季休業日(7/21～8/26)								
二 学 期	9	歌唱：曲想の変化を生かして	○「帰れソレントへ」 ・速さ、強弱の設定と転調による曲想の変化 ・正確なイタリア詞唱と曲種に応じた歌い方	○	◎	◎		学 習 の 到 達 目 標 ・楽曲の演奏に相当する表現を楽譜から読み取ることができる。 ・記号の読みと意味を理解し、演奏に必要な演奏技術を身に付けることができる。 ・音楽材の特徴を理解し、自分のイメージや音楽を形づくっている要素とかかわらせながら、それらを生かして音楽をつくることができる。 ・楽曲の形式と背景を理解し、美しさを感じながら鑑賞し、自分の言葉で表現することができる。
		鑑賞：総合芸術の魅力 -オペラ-	○鑑賞曲 オペラ「アイーダ」から 第二幕 第二場 ・物語の内容や台詞に伴う音楽表現の豊かさ	◎			◎	
	10	中間考査(10/9～10/10)	・人物の役柄と声の種類や音域とのかかわりと音楽と他の芸術との関わりの理解					
	11	歌唱：表現を工夫しよう	○「Top of the world」 ・リズムや強弱の設定を生かし、表現を工夫する	○	◎	◎		
		歌唱：混声合唱の楽しみ	○「大地讃頌」 ・歌詞の内容を味わう ・声部の役割を理解して表現を工夫	○	◎	◎		
	12	期末考査3年(11/28～12/4) 期末考査1・2年(11/29～12/4)					○ ◎ ◎	
		○ 考査前より続けて「大地讃頌」					○ ◎ ◎	
冬季休業日(12/21～1/6)								
三 学 期	1	○ 2学期より続けて「大地讃頌」					○ ◎ ◎	
		鑑賞：日本の伝統芸術の魅力 -能-	○鑑賞曲 能「羽衣」キリから「東遊びの数々に～」の部分 ・面や衣装、舞台表現の特徴などの理解 ・物語の内容の理解、声の出し方や楽器との合わせ方	◎			◎	
	2	学年末考査3年(2/22～2/28) 学年末考査1・2年(2/25～2/28)					○ ◎ ◎	
	3	器楽：和楽器 箏を弾こう	○「さくら さくら」 箏の特徴、平調子について知り、基本的奏法を習得する	○	◎	◎		

平成30年度
シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程)

教科	芸術	科目	音楽 I	学年	4 年	類型	共通	単位数	2	単位
----	----	----	------	----	-----	----	----	-----	---	----

教科書名	MOUSA 1	出版社名	教育芸術社
------	---------	------	-------

学期	月	指導計画		評価の観点				授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	関	創	技	鑑	
一 学 期	4	オリエンテーション	○ 1年間の音楽活動の概要	○	○	◎		<p>授 業 の 概 要</p> <p>基礎的な技能を踏まえ、歌唱、器楽、鑑賞活動を行います。歌唱では、さまざまな国の歌に親しみます。また、正確な音程や響きの統一により美しいハーモニーづくりを目指します。器楽ではギター、篠笛の基本的な奏法を学びます。</p> <p>学 習 の 到 達 目 標</p> <p>・ 楽曲に合った豊かな発声法や響かせ方を工夫し、言葉と音楽の結びつきに注意した表現をすることができる。 ・ ギター、篠笛の基本的な奏法を身に付け、アンサンブルを楽しむことができる。 ・ 音楽材の特徴を生かし、イメージをもって音楽をつくることできる。 ・ 音楽の面白さやよさを感じ取り、根拠を持って自分なりに批評することができる。</p>
		歌唱：正しい姿勢や呼吸法、発声法を身に付けよう	○ 「Ave Maria」 ・ 基礎的な歌唱技能の確認					
		歌唱：言葉を大切に歌おう	○ 「ひまわりの約束」					
	5	鑑賞：古典派の音楽	○ モーツァルト作曲「交響曲 第25番」・ベートーヴェン作曲「交響曲 第5番」	◎			◎	
		中間考査(5/15～5/18)	・ 古典派、交響曲、モーツァルト、ベートーヴェンについて					
	6	歌唱：ドイツ語の歌を歌おう	○ 「Heidenroslein」 ・ 歌詞の内容と正しいドイツ詞唱	○	○	◎		
		器楽：ギターに挑戦1(単旋律)	○ 「エーデルワイス」 ・ ギターの基本的な奏法と単旋律の演奏	◎	○	◎		
	期末考査(6/27～7/3)							
7	歌唱・器楽：ギターに挑戦2(コード)	○ 「カントリーロード」 ・ コードの確認と弾き歌い	◎	○	◎			
	夏季休業日(7/21～8/26)							
二 学 期	9	歌唱：イタリア語の歌を歌おう	○ 「Caro mio ben」、「O sole mio」 ・ 歌詞の内容と正しいイタリア詞唱、豊かな発声法と言葉の響きについて	○	◎	◎		
		歌唱：ミュージカルに親しもう	○ 「Memory」、「The Sounds of Music」 ・ ミュージカルについての理解を深め、情景をイメージして表現を工夫	○	◎	◎		
		中間考査5年(10/2～10/5)						
		中間考査4・6年(10/9～10/12)						
	10	器楽：篠笛に挑戦	○ 「ほたるこい」、「さくら」 ・ 基本的な奏法の確認	○	◎	◎		
		鑑賞：ロマン派の音楽	○ 組曲「動物の謝肉祭」 ・ サン＝サーンスについて知り、音楽の要素とイメージをつなげて鑑賞	◎			◎	
		期末考査(11/28～12/4)						
12	創作：メロディーの雰囲気を変化させよう	○ 変奏曲の創作 ・ 音を加えたり、リズムや拍子、調などの要素を変えたメロディーづくり	○	○	◎	○		
	冬季休業日(12/21～1/6)							
三 学 期	1	歌唱：日本歌曲を歌おう	○ 「この道」 ・ 日本語の美しい響き、鼻濁音について	○	◎	◎		
		器楽：篠笛に挑戦2	○ 「竹田の子守唄」 ・ 篠笛三重奏	○	◎	◎		
	2	歌唱：混声合唱の楽しみ	○ 混声三部、または混声四部合唱曲の合唱 ・ パート練習及び全体練習	○	◎	◎		
		学年末考査4・5年(2/22～2/28)	・ 各声部の役割の確認					
	3		・ 歌詞及び曲想の把握と表現の工夫 ・ まとめの合唱					

平成30年度
シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程)

教科	美術	学年	1	年	時間数	45	時間
----	----	----	---	---	-----	----	----

教科書名	美術1 出会いと広がり	出版社名	日本文教出版
------	-------------	------	--------

学期	月	指導計画		評価の観点				授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等	
		単元	内容	関	思	技	知		
一 学 期	4	オリエンテーション	図画工作、そして…美術へ	○				<p>授業の概要</p> <p>「美術1」では、絵画・デザイン・彫刻・工芸それぞれの分野において基本的な創作活動を行います。その活動を通してもの見方・感じ方、主題や発想の創出、考えやイメージの組み立て、形や色で表す感覚などの基礎的技能を身に付けていきます。また、鑑賞などを通して美術に親しみ、自分を表現する楽しさを体験していきます。</p> <p>学習の到達目標</p> <p>・アクリル絵の具等の用具をきちんと使用することができる。</p> <p>・基本的な美術の感性や技能を身に付け、自己表現することができる。</p> <p>・色彩やデザイン、絵画の基礎・基本を理解し、制作できる。</p> <p>・友人の作品の良さを感じ取ることができる。</p> <p>評価の観点</p> <p>美術への関心・意欲・態度</p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい、用途や機能、使用する者の気持ちなどを考えて、表現することに関心を持ち、主体的に構想を練ったり、材料や用具を生かしたりしようとしている。</p> <p>発想や構想の能力</p> <p>感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に豊かに発想し、形や色彩の構成などを工夫し、心豊かな表現の構想を練っている。</p> <p>創造的な技能</p> <p>感性や造形感覚などを働かせて、形や色彩などの表し方を身に付け、意図に応じて材料や用具を生かしたり、制作の順序などを考えたり、創意工夫して表している。</p> <p>鑑賞の能力</p> <p>感性や想像力を働かせて、造形的な良さや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、生活の中の美術の働きなどを感じ取り、見方を広げたり、美術文化の特性や良さやに気付いたりしている。</p> <p>評価方法</p> <p>学習の状況は、「関心・意欲・態度」、「発想や構想の能力」、「創造的な技能」、「鑑賞の能力」の4つの観点で評価します。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取り組み方、アイデア(下書き)」、「作品」、「鑑賞(自己評価等)」、「定期考査」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。</p> <p>備考</p>	
		楽しく伝える文字のデザイン(デザイン)	○レタリング ・明朝体 ・ゴシック体 ・着色			○			
	5	中間考査(5/15～5/16)	・完成				○		
		色の広がり、色の魅力(デザイン)	○12色相環 ・三原色 ・色相、明度、彩度 ・着色 ・着色		○	○	○		
	6	期末考査3年(6/27～7/3) 期末考査1・2年(6/28～7/3)	・完成				○		
		記憶に残るシンボルマーク(デザイン)	○ポスター制作の基礎(テーマ選択) ・テーマを決める、深める。				○		
	夏季	夏季休業日(7/21～8/26)	・アイデアスケッチ ・コピー(文案)レタリング、レイアウト、下書き、配色計画、着色、						
8		・相互鑑賞		○		○			
二 学 期	9	○自然の形や色彩 ・光の色と材料の組合せを学ぶ、スタンドグラスの理解 ・自然の表情からアイデアを探る。 ・表現意図に合わせて、形や色彩を工夫する。		○		○			
		・		○		○			
	10	中間考査(10/9～10/10) ・アイデアスケッチ ・アイデアスケッチ ・スタンドグラスの制作① ・スタンドグラスの制作② ・スタンドグラスの制作③ ・スタンドグラスの制作④ ・スタンドグラスの制作⑤					○		
	11	・スタンドグラスの制作⑥					○		
		期末考査3年(11/28～12/4) 期末考査1・2年(11/29～12/4)	・相互鑑賞		○		○		
冬季	作品鑑賞 フィンセント・ファン・ゴッホ(鑑賞)	○光に魅せられて、浮世絵との出会い		○		○			
	冬季休業日(12/21～1/6)								
三 学 期	1	いろいろなスケッチ(絵画)	○スケッチ ・いろいろなスケッチを通して観察することを身に付ける。(知る、考える、伝える) ・身近にあるものをスケッチ① ・身近にあるものをスケッチ②	○	○		○		
		・重色と混色について				○			
	2	・目的に応じて、描き方や材料を工夫してスケッチ ・対象の形や色彩、動きなどの特徴を捉えてスケッチ					○		
		学年末考査3年(2/22～2/28) 学年末考査1・2年(2/25～2/28)	・着色 ・相互鑑賞				○		
3	作品鑑賞 私が見つけた物語(鑑賞)	・着色 ・相互鑑賞				○			
	2年生に向けて	まとめ				○			

平成30年度
シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程)

教科	美術	学年	3	年	時間数	35	時間
----	----	----	---	---	-----	----	----

教科書名	美術2・3上下 学びの深まり・美の探求	出版社名	日本文教出版
------	---------------------	------	--------

学期	月	指導計画		評価の観点				授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	関	思	技	知	
一 学 期	4	オリエンテーション	・社会に広がる美術	○				授業の概要 「美術2・3下」では、美術1と2の学習を踏まえて、それぞれの課題に自己のテーマを設定し、主体的に制作活動をしていきます。表現能力や技能をさらに高め、より良い作品を追求しながら、芸術の喜びを味わいます。
		空想の世界への誘い(絵画・デザイン)	○自由な発想でイメージを表現する	○				
		超現実の世界をつくろう	・マグリット「ピレネーの城」を鑑賞	○		◎		
		鑑賞	”	○		◎		
	5	中間考査(5/15～5/16)	・「超現実」の意味を理解する。	○		◎		
			・現実にとらわれない自由な発想力、空想力を深める。		◎	○		
			・コラージュ作品、素材を集める。		◎	○		
6		・アイデアスケッチ(背景)		○	◎			
		・コラージュ作品制作①			◎			
		・コラージュ作品制作②			◎			
		・コラージュ作品制作③			◎			
7	期末考査3年(6/27～7/3)	・コラージュ作品制作④			◎		学習の到達目標 ・自分の表現したい意図が見る側にしっかり伝わるように粘り強く制作に取り組むことができる。 ・自分の個性を感性豊に表現すると同時に、友だちの作品の深みを読み取ることができる。 ・ポスターの意味をしっかりと理解し、高いレベルで制作できる。 ・人間にとって芸術とは何なのか、を自分の問題として考えることができる。	
	期末考査1・2年(6/28～7/3)	・完成		○	◎			
	問題意識を形に(デザイン)	・相互鑑賞	○		◎			
	(社会の問題を美術を通してとらえよう)	○ポスター制作の基礎(テーマ選択) ・テーマを決める、深める。	○		○			
夏季	8	夏季休業日(7/21～8/26)						
二 学 期	9	東へ、西へ(絵画)	・相互鑑賞			◎	評価の観点 美術への関心・意欲・態度 美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を高めるために、主体的に学習に取り組もうとする。 発想や構想の能力 感性や想像力を働かせて、対象を深く見つけ、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に独創的で豊かな発想をし、形や色彩などの効果を生かし、心豊かで創造的な表現の構想を練っている。 創造的な技能 感性や造形感覚などを働かせて、材料や用具の特性を生かし、表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考えたりするなどし、創意工夫して創造的に表している。 鑑賞の能力 感性や想像力を働かせて、造形的な良さや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り味わったり、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化などについての理解や見方を深めたりしている。	
		(金色の効果を用いた表現を味わおう)	○金色の効果を用いた日本の伝統絵画を味わう	○		◎		
			・屏風絵等日本の伝統絵画の鑑賞①			◎		
	10		・屏風絵等日本の伝統絵画の鑑賞②			◎		
			・金色の効果を生かして、主題を生み出す		◎	○		
		中間考査(10/9～10/10)	・アイデアスケッチ		◎	○		
11		・アイデアスケッチ		◎	○			
		・主題をもとに、金色の効果や材料や方法を工夫して表す		○	◎			
		・金箔貼り		○	◎			
		・着色①		○	◎			
12		・着色②		○	◎			
		・着色③		○	◎			
	期末考査3年(11/28～12/4)	・仕上げ		○	◎			
	期末考査1・2年(11/29～12/4)	・完成		○	◎			
冬季	1	作品制作	・相互鑑賞	○		◎	鑑賞の能力	
		刻まれた折り(鑑賞)	○仏像の種類と様式を学ぶ	○		◎		
		冬季休業日(12/21～1/6)						
三 学 期	2	石を彫る(デザイン・工芸)	○篆刻	◎			評価方法 学習の状況は、「関心・意欲・態度」、「発想や構想の能力」、「創造的な技能」、「鑑賞の能力」の4つの観点で評価します。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取り組み方、アイデア(下書き)」、「作品」、「鑑賞(自己評価等)」、「定期考査」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。	
		(自然とのつながりから生まれた造形)	・陽刻と陰刻について			◎		
			・芸術作品としての印		○			
	3		・自分を表すマークデザイン		◎	○		
			・アイデアスケッチ			◎		
		学年末考査3年(2/22～2/28)	・彫る①			◎		
学年末考査1・2年(2/25～2/28)	・彫る②			◎				
3		・相互鑑賞(金屏風に押印)			◎		備考	
	日本美術の展開と世界との交流(鑑賞)	○巻末資料を基にDVD鑑賞	○		◎			
		3年間のまとめ	・美術との向き合い方	○		◎		

平成30年度
シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程)

教科	芸術	科目	美術 I	学年	4年	類型	共通	単位数	2	単位
----	----	----	------	----	----	----	----	-----	---	----

教科書名	Art and You 創造の世界へ	出版社名	日本文教出版
------	--------------------	------	--------

学期	月	指導計画		評価の観点				授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等			
		単元	内容	関	思	技	知				
一 学 期	4	オリエンテーション	高校美術Iについて	○				授業の概要 「美術I」では、美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養います。			
		ロゴマークの制作(デザイン)	○デザインの役割 ・ロゴマークの役割 ・自分の名前をロゴマーク化する ・アイデアスケッチ、下描き	○							
		5	中間考査(5/15～5/18)	・着彩1・2 ・着彩3・4	○	◎					
			作品鑑賞 ポスターの制作(デザイン)	・着彩5・6 ・仕上げ ・相互鑑賞	○	◎			◎		
	6	テーマの選択	○ポスター制作の基本	○							
		いろいろな構成	・テーマ決定 ・アイデアスケッチ	○							
	7	期末考査(6/27～7/3)	・下描き1 ・下描き2	○					学習の到達目標 ・ 絵画・彫刻では、感じ取ったことや考えたことなどから 主題を生成し、その主題を追求して表現することができる。 ・ デザインでは、目的、機能、美しさなどを考えて主題を生成し、表現方法を工夫し、目的や計画を基に表現することができる。 ・ 鑑賞では、美術作品などの良さや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深めることができる。また、日本の美術の歴史や表現の特質、日本及び諸外国の美術文化について理解を深めることができる。		
		8	夏季休業日(7/21～8/26)	・構成 ・配色計画 ・着色1 ・着色2	○	◎					
			9	ポスターの鑑賞	・着色3 ・着色4 ・着色5 ・着色6	○	◎				
				油彩画に親しむ(絵画)	・相互鑑賞	○					○
	二 学 期	9	水性油絵の具の特性、下描きと地塗り	○油彩による有名な絵画作品の模写 ・模写の選択 ・作者の生涯について① ・作者の生涯について②	○	○					評価の観点 美術への関心・意欲・態度 美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 発想や構想の能力 感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。 鑑賞の能力 美術や美術文化を幅広く理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。
			中間考査5年(10/2～10/5)	・演習	○	◎					
中間考査4・6年(10/9～10/12)			・下描きの拡大模写1・2	○	○						
10			明暗の表現(補色混合)	・下塗り1・2 ・下塗り3・4	○	○					
11		油彩の塗り方	・油彩での着色1・2	○							
		マチエールの工夫	・油彩での着色3・4	○							
		細部の描き込み、背景の工夫	・油彩での着色5・6	○	◎						
		仕上げ	・油彩での着色7・8 ・仕上げ	○	◎						
12		期末考査(11/28～12/4)	・仕上げ	○	◎						
		作品鑑賞	・仕上げ ・相互鑑賞	○	◎						
		アニメーションの表現	・相互鑑賞	○			○				
		冬季休業日(12/21～1/6)	・鑑賞会	○	◎						
三 学 期	1	切り絵制作(デザイン・彫刻)	・切り絵の基本的な特徴 ・アイデアスケッチ1 ・アイデアスケッチ2 ・原案完成 ・黒画用紙のカッティング1・2	◎	○		○	評価方法 学習の状況は、「美術への関心・意欲・態度」、「発想や構想の能力」、「創造的な技能」、「鑑賞の能力」の4つの観点で評価します。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取り組み方、アイデア(下描き)」、「作品」、「鑑賞(自己評価等)」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。			
		2	学年末考査4・5年(2/22～2/28)	・カッティング1・2 ・カッティング3・4	○	◎					
			作品鑑賞	・カッティング5・6 ・カッティング7・8	○	◎					
	3	作品鑑賞 時を越える創造(鑑賞)	・仕上げ(バランスを見て制作)	○	◎				備考		
		一年間のまとめ	・仕上げ(色画用紙に貼り、額にはめる) ・相互鑑賞	○			◎				
			一年間を振り返って	○							

平成30年度
シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程)

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	学年	6年	類型	スーパーグローバル文科系	単位数	2	単位
----	----	----	-----	----	----	----	--------------	-----	---	----

教科書名	高校生の美術 2	出版社名	日本文教出版
------	----------	------	--------

学期	月	指導計画		評価の観点				授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	関	思	技	知	
一 学 期	4	オリエンテーション 想像上の生物をつくる (デザイン・工芸・彫刻)	美術Ⅱについて	○			○	授業の概要 「美術Ⅱ」では、これまでの美術で学習したことを踏まえ、自分に合った表現方法を探りながら自主的な創造活動を中心に行い、個性豊かな表現の能力を養います。 また、幅広い地域や時代の作品や広く社会の中で活躍する作家などを取り上げ、生涯を通して美術文化について理解を深めます。
			○鑄造についての理解(ペーパー鑄型の説明)	○	◎			
			・アイデアスケッチ1、2			○	◎	
			・型作り1、2				◎	
	5	中間考査(5/15～5/18) 統一感のあるデザイン(デザイン)	・鑄造1、2				◎	
			・磨き				◎	
	6		・仕上げ				◎	
			○タンブラー制作・アイデア	○			○	
			・アイデア2・3			○	◎	
			・下描き1・2				◎	
7	期末考査(6/27～7/3) 作品鑑賞	・エッチング1・2				◎		
		・エッチング3・4				◎		
		・着彩①		○		◎		
8	夏季休業日(7/21～8/26)	・仕上げ1、2				◎		
		・相互鑑賞	○			◎		
二 学 期	9	卒業制作(デザイン) シルクスクリーンの世界	○Tシャツ制作・課題からの選択	○			○	学習の到達目標 ・制作におけるさまざまな技法を習得し、自己表現に生かすことができる。 ・自分の個性や感性、思いを、相手に伝わるように表現すると同時に、友だちの作品の思いも同様に読み取ることができる。 ・人間にとって芸術とは何なのか、自分にとってどういう意味を持つのかを、自ら制作する中で考えることができる。
			・シルクスクリーンの理解1、2	○			◎	
			・テーマを決める1、2	○	○	○		
			・テーマを深める1、2	○	○	○		
	10	中間考査5年(10/2～10/5) 中間考査4・6年(10/9～10/12)	・アイディア1・2				◎	
			・アイディア3		○		◎	
	11		・アイディア4、5				◎	
			・下描き1				◎	
			・下描き2、3				◎	
			・シルクスクリーンを学ぶ	○			◎	
12	期末考査(11/28～12/4) 作品鑑賞	・版制作1、2				◎		
		・版制作3、4				◎		
		・版制作5、6				◎		
		・版制作7				◎		
1	冬季休業日(12/21～1/6)	・試し刷り		○		◎		
		・プリント1、2				◎		
三 学 期	1	世界のアニメーション(鑑賞)	・相互鑑賞	○			◎	評価の観点 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。 鑑賞の能力 美術や美術文化を幅広く理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。
			○アニメーションの表現について理解を深める。	◎			◎	
			・鑑賞1、2	◎			○	
			・鑑賞3	◎			○	
	2	まとめ 学年末考査4・5年(2/22～2/28)	・6年間を振り返って	○			◎	
			家庭学習	○			◎	
				○			○	
	3			○			○	
				○			○	
				○			○	
備考								